

公園緑地の多様性と魅力を高めるパークマネジメントの取り組みと今後の展望 ～静岡県沼津市における官民連携のあり方検討をふまえて～

玉野総合コンサルタント株式会社 東京支店 都市再生部 まちづくり推進課 大島 佳世 他

○キーワード

パークマネジメント、官民連携、地方都市、市民協働

○概要

静岡県沼津市の公園・緑地を対象に、市民ニーズの多様化に対応するため、従来の行政主体型ではなく、市民・事業者・愛護会等の多様な主体の参加によって維持管理・運営していくためのあり方について、まちづくりの課題を公園・緑地が活性化することにより解決することを目指し、その取り組みを「パークマネジメントプラン」としてとりまとめた。また、選定したモデル公園での検討に基づき、本市の状況を踏まえた2つの連携パターンによる民間活力導入の展開方針を示した「民間活力を生かした公園アクションプラン」を策定し、事業者との連携による公園の活用方法をまとめている。

○技術ポイント

パークマネジメントプランの作成にあたっては、公園・緑地の活性化により市が抱えるまちづくりの課題解決につながるように、公園・緑地の維持管理・運営における課題を抽出し、課題解決のための方針をパークマネジメントプランとしてとりまとめた。

また、沼津市は人口19.5万人の地方都市であり、市街地に大規模な公園は整備されておらず、収益を目的とした事業者参入が難しい場合も想定されるため、地元企業や商店街との連携や自治会や公園愛護会との連携など、沼津市の特性にあった官民連携手法を検討した。

さらに、アクションプラン策定では、民間参入の可能性や効果が高い公園を対象公園として抽出し、連携が想定される事業者を対象に参入の可能性について調査し、企業連携型（市を代表する公園を対象とした全国規模程度の事業者の参画）と地域連携型（小規模な都市公園を対象とした地域の事業者との連携）の2パターンの官民連携のあり方を模索した。

○図・表・写真等

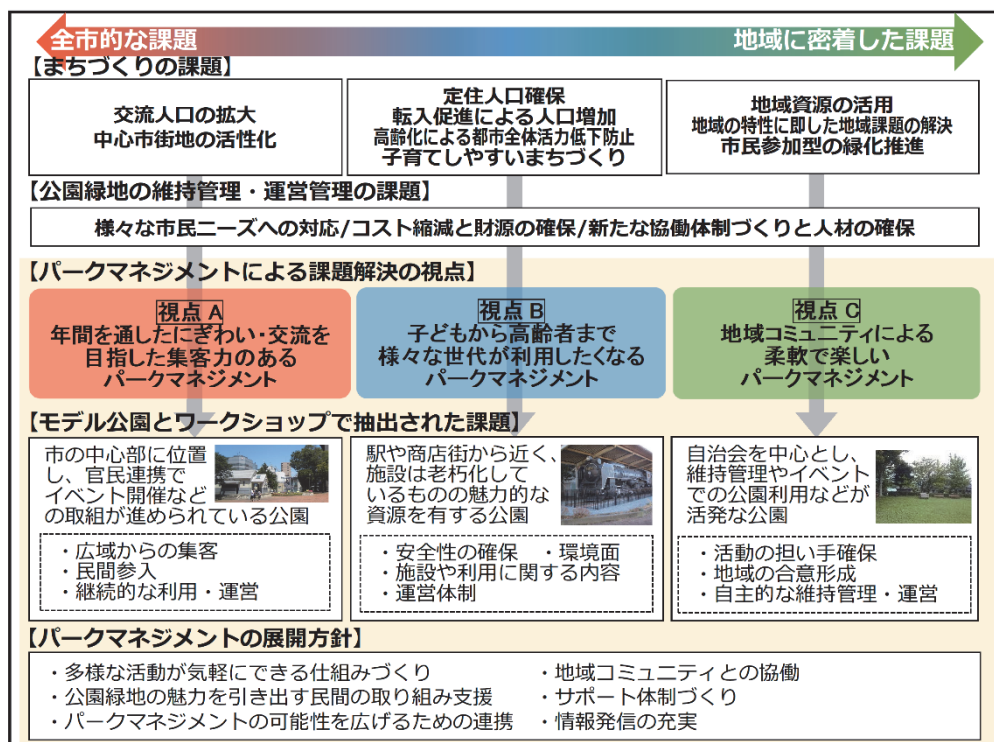


図-1 パークマネジメント検討の流れ